

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 令和4年7月19日（火）受付分より

《検査要項》

検査項目名称	トリコモナス/マイコプラズマ・ジェニタリウム (TV/MG) 同時核酸検出	
	尿	分泌物
検査コード	6467 6468 (トリコモナス結果値用) 6469 (マイコプラズマ・ジェニタリウム結果値用)	6861 6862 (トリコモナス結果値用) 6863 (マイコプラズマ・ジェニタリウム結果値用)
JLAC10	該当なし	
TFAコード	31830000	31820000
診療行為コード	160234150	
検体量	初尿 4.5mL	分泌物
保存・容器	冷蔵・QU	冷蔵・QS
実施料 (判断区分)	350点 (微生物)	
所要日数	2～6日	
検査方法	リアルタイムPCR法	
基準値	トリコモナス：陰性 / マイコプラズマ・ジェニタリウム：陰性	
報告形態	陰性 / 陽性 / 判定不能	
実施施設	LSIメディエンス	

保険収載名称：膣トリコモナス及びマイコプラズマ・ジェニタリウム同時核酸検出

保険注釈：膣トリコモナス核酸及びマイコプラズマ・ジェニタリウム同時核酸検出は、リアルタイムPCR法により、膣トリコモナス感染症を疑う患者であって、鏡検が陰性又は実施できないもの若しくはマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症を疑う患者に対して治療法選択のために実施した場合及び膣トリコモナス感染症又はマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症の患者に対して治療効果判定のために実施した場合に、HPV核酸検出の所定点数を準用して算定する。

《 解 説 》

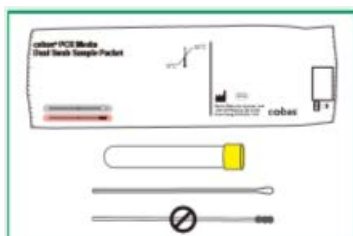
膣トリコモナスは、男性では尿道炎、女性では膣炎を引き起こす原虫です。また、マイコプラズマ・ジェニタリウムは、男性では尿道炎、女性では子宮頸管炎や骨盤内炎症性疾患を引き起こす細菌です。

本検査はリアルタイムPCR法により、性感染症の原因微生物である膣トリコモナスおよびマイコプラズマ・ジェニタリウムを迅速に検出します。膣トリコモナス感染またはマイコプラズマ・ジェニタリウム感染の診断補助検査として2022年6月に保険適用されました。

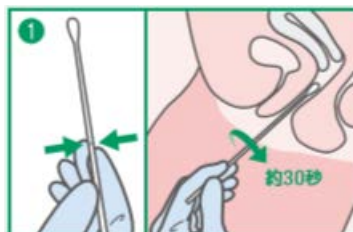
《 備 考 》

- 初尿：排尿時における最初の部分の尿（早朝一番尿とは異なります）
- 分泌物：検体採取部位は、子宮頸管または膣です。
- 初尿および子宮頸管分泌物の採取方法は総合検査案内 143 ページをご参照ください。膣分泌物の採取方法は下記の採取方法をご参照ください。
- 材料が初尿または子宮頸管分泌物の場合、同一検体でクラミジアトラコマチス PCR および淋菌 PCR との重複依頼が可能です。

《検体採取方法》 — 膣分泌物 —



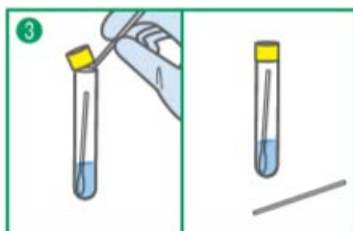
スワブ検体採取セットに付属されているスワブ（大）のみを使用します。スワブ（小）は使用しないでください。



片手でスワブ（大）の黒い線の下側の柄を持ち、膣口から5cmほど挿入します。スワブを膣壁にこすりつけるようにして時計回りに約30秒ほどゆっくりと回します。スワブを慎重に引き抜きます。スワブ搬送用チューブに保管するまでは先端部がどこにも触れないようにしてください。



スワブ搬送用チューブのキャップを開けます。採取したスワブの先端が、チューブ内の溶液に漬からないように注意しながら入れ、柄に付けられた黒い線をチューブの縁に合わせます。



チューブの縁を利用して、スワブの柄に付けられた線で折ります。折られた柄は廃棄してください。また、柄を折る際は絶対にはさみを使用しないでください。キャップをしっかりと閉めます。